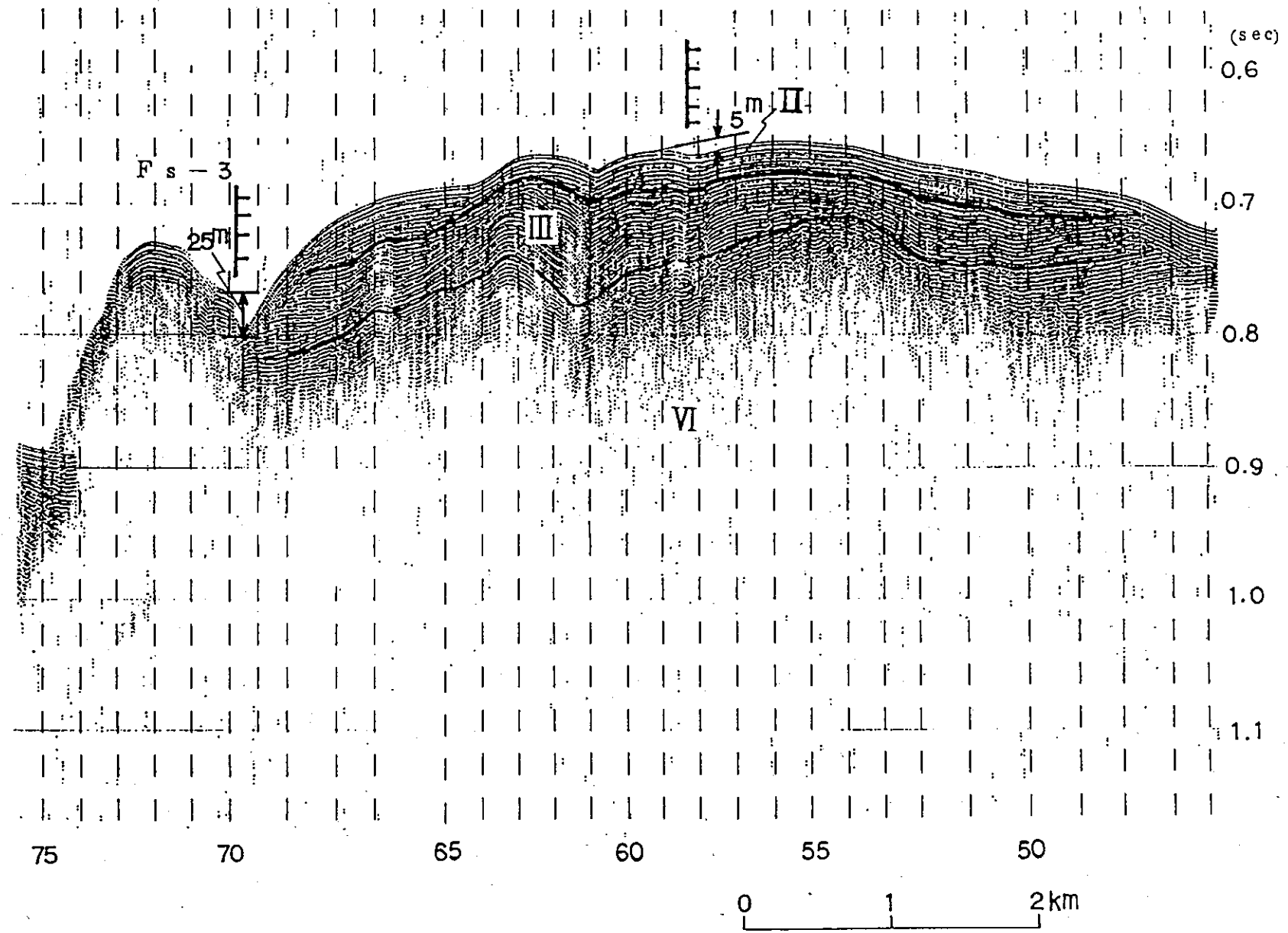
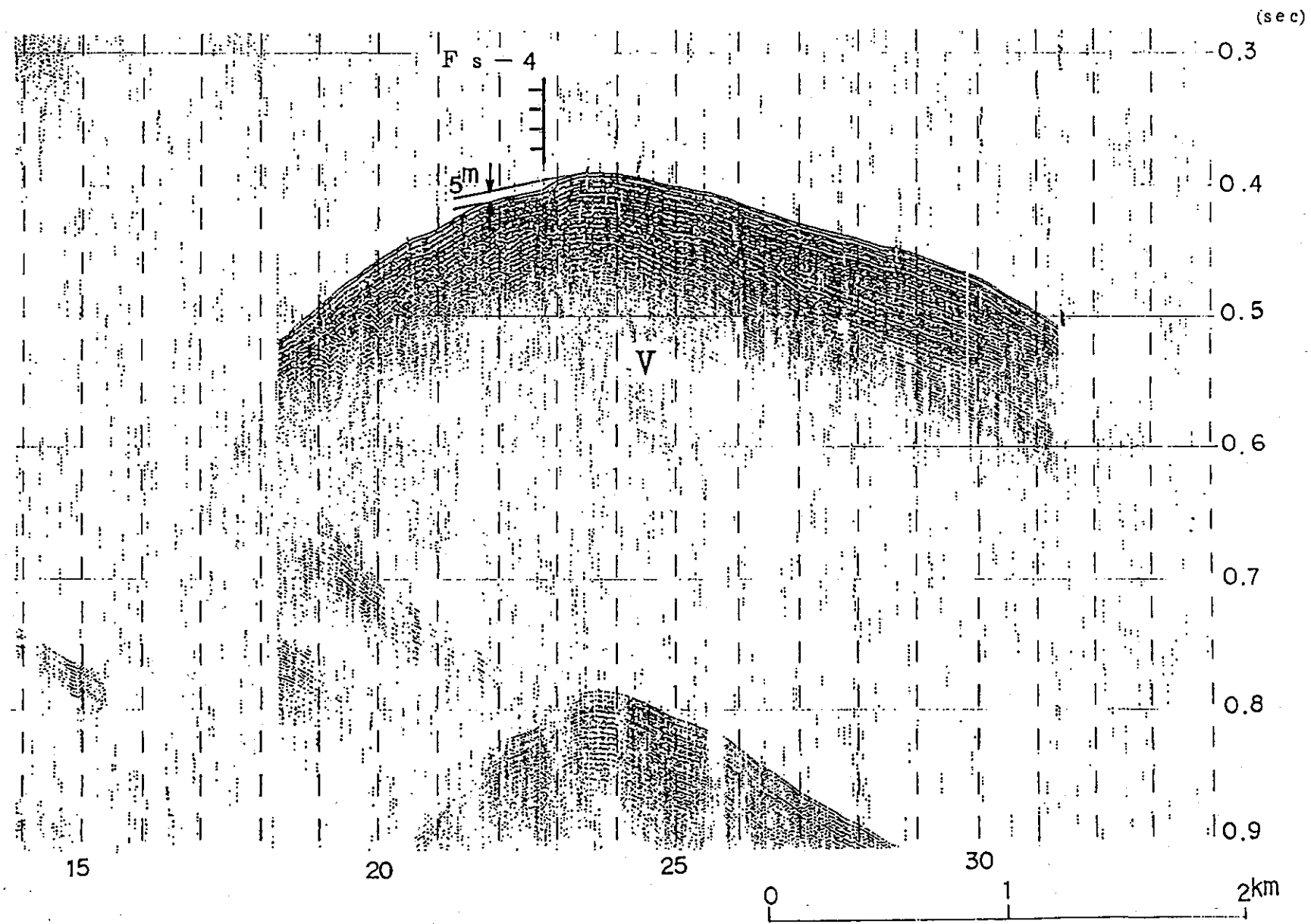


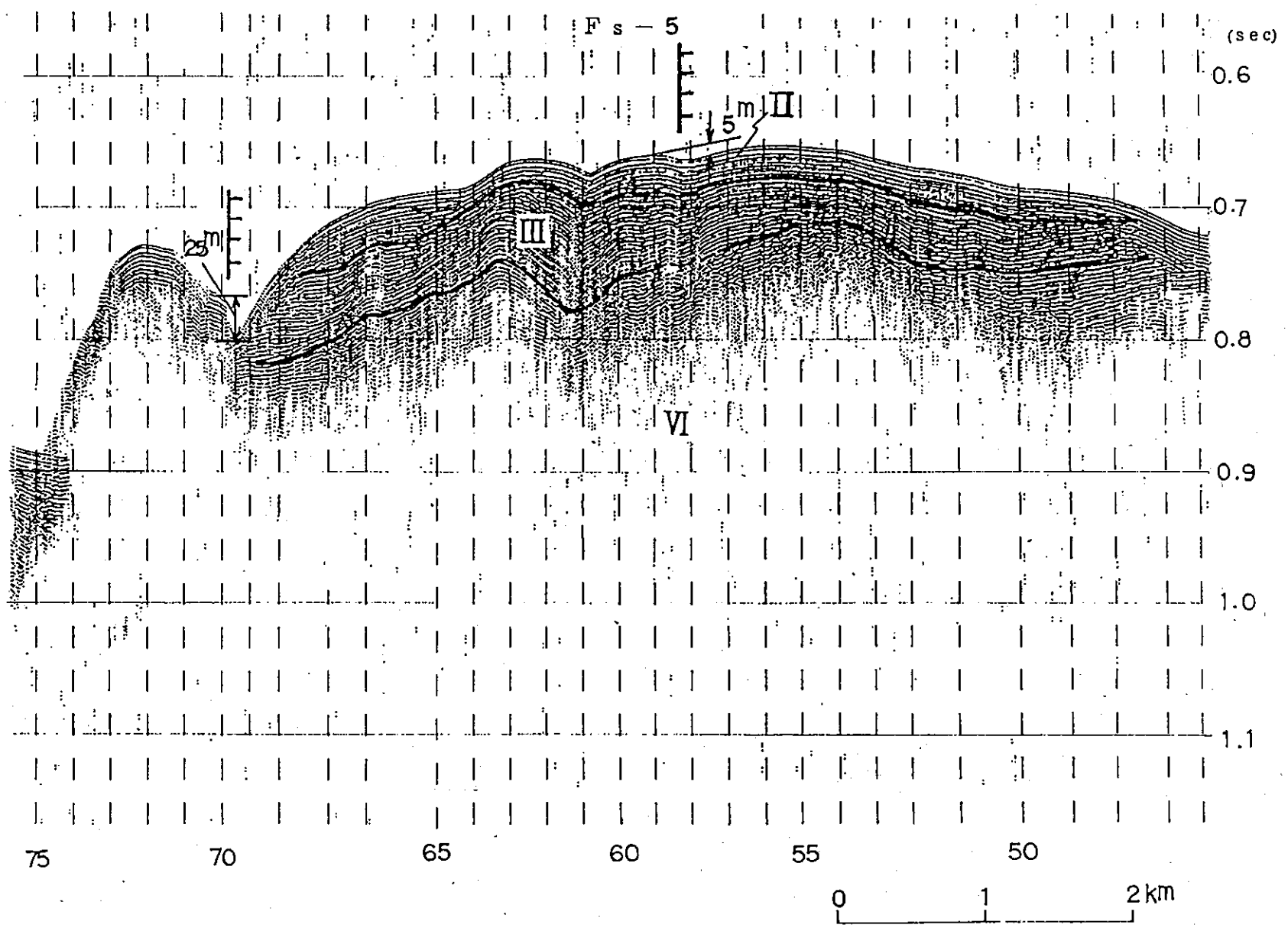
Fs - 3, 測線 5



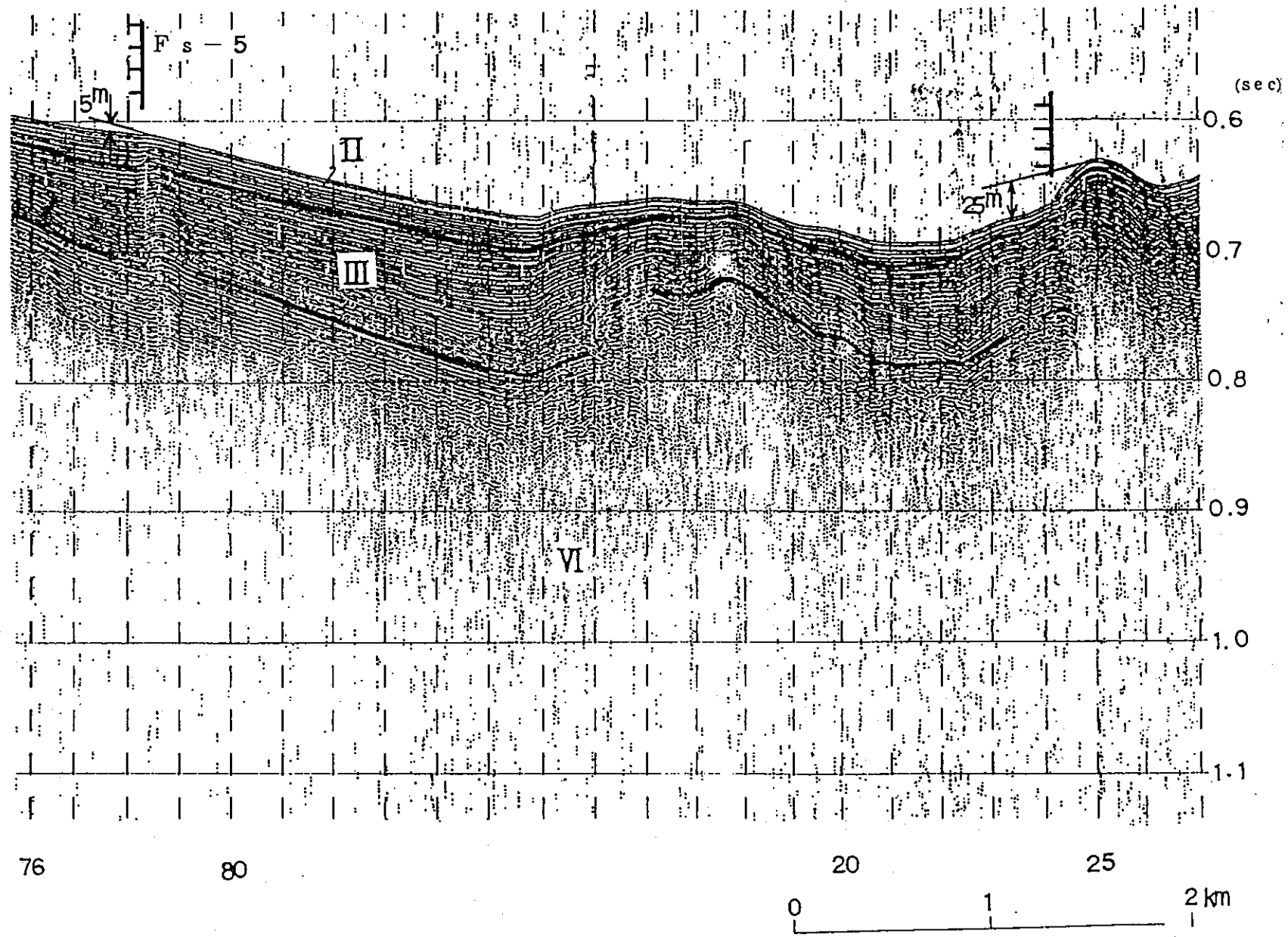
Fs - 3, 測線 i



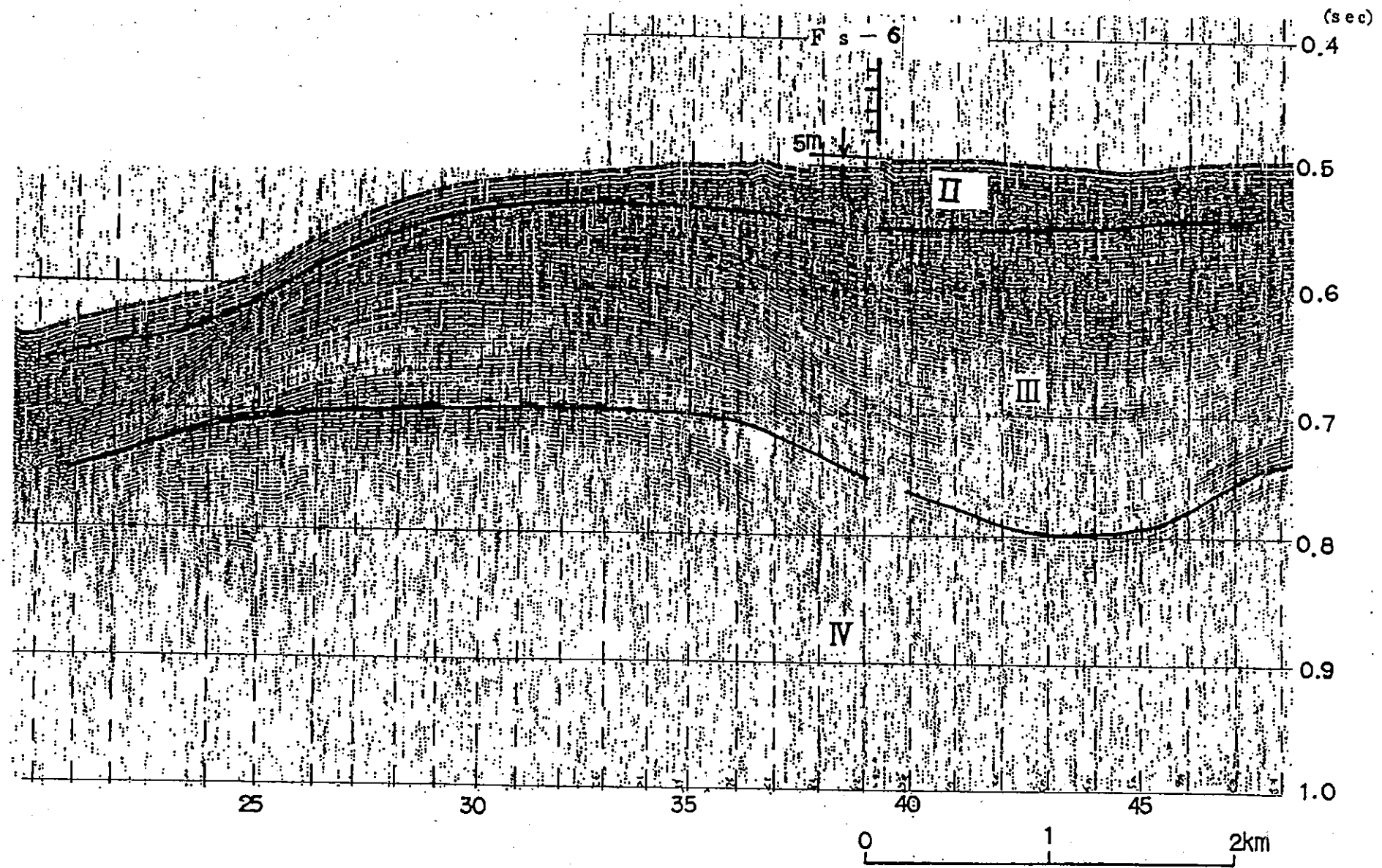
Fs-4, 測線 j



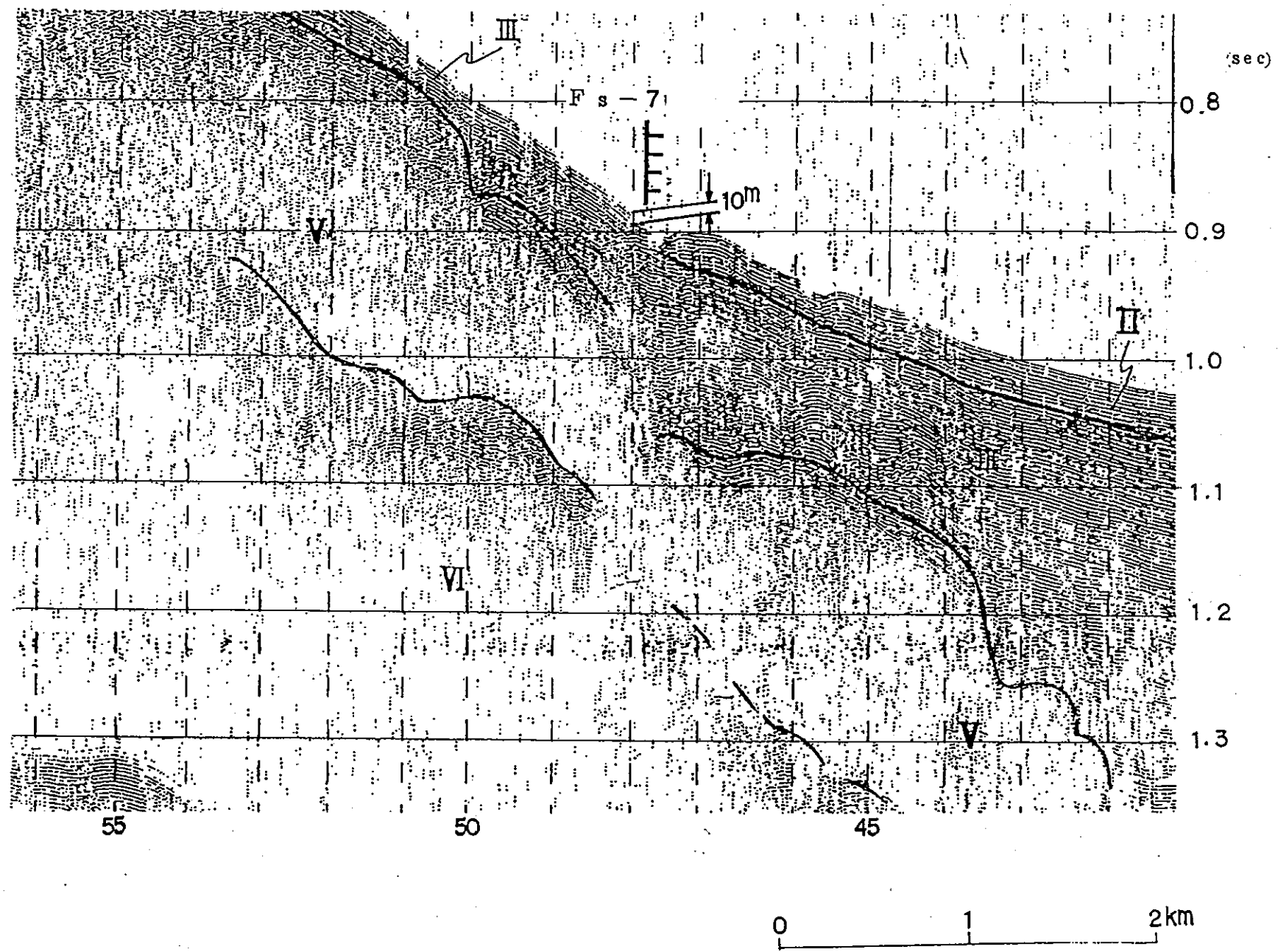
Fs - 5, 測線 i



Fs-5, 測線5



Fs-6, 測線3



Fs-7, 測線 7

敷地周辺海域

凡 例

○：最近の活動性が認められる断層

×：最近の活動性が認められない断層

△：最近の活動性が不明なもの
(測線B-①, ②のみ)

音波探査の方法

北海道電力

	A 海域	B 海域
測線間隔	約 5 km	
振源	水中放電式 (スパーカ)	圧縮空気式 (ウォーターガン)
最大水深	約 1000 m	約 3500 m
発振間隔	3 秒	18 秒
発振エネルギー	4500 ジュール	25000 ジュール
船速	約 5 ノット	
船位表示	20 分	
記録の縦横比	約 8	約 18

海上保安庁

地質調査所

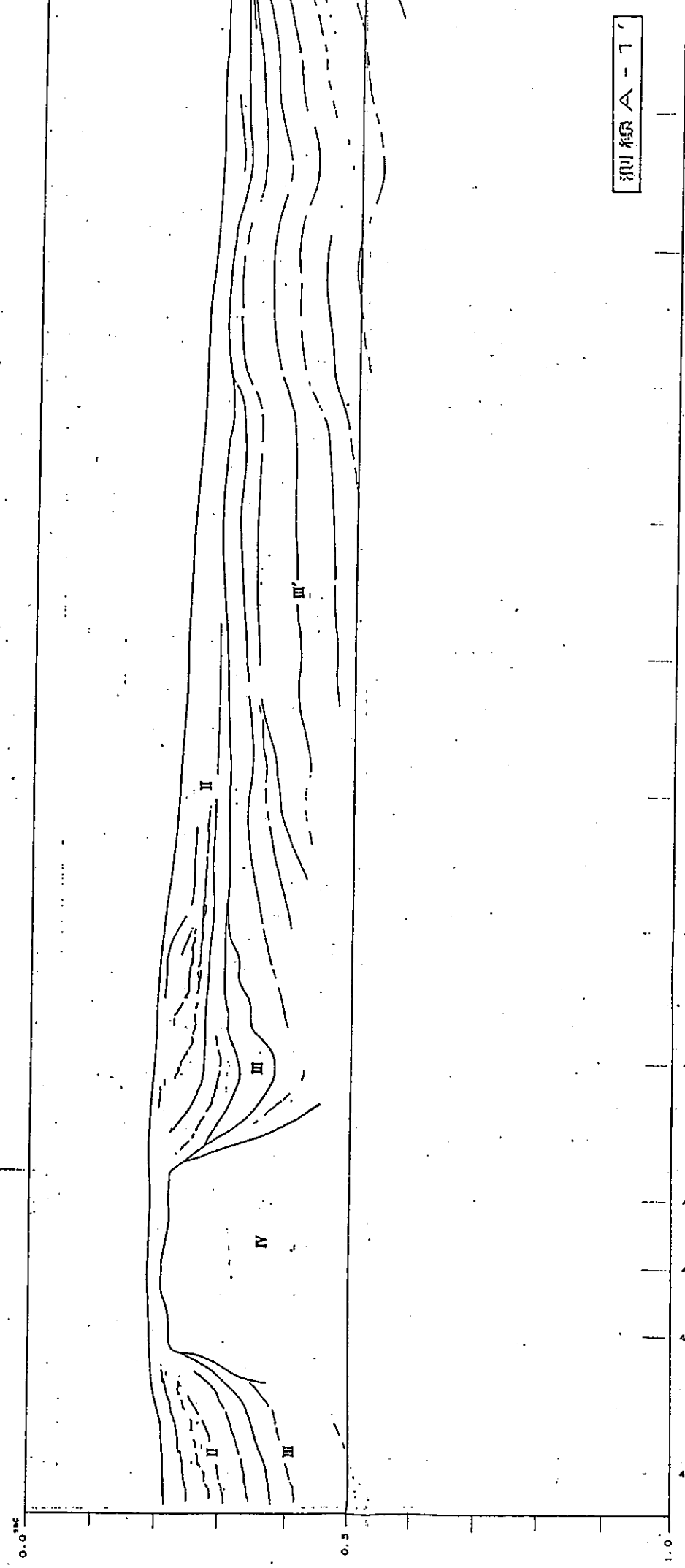
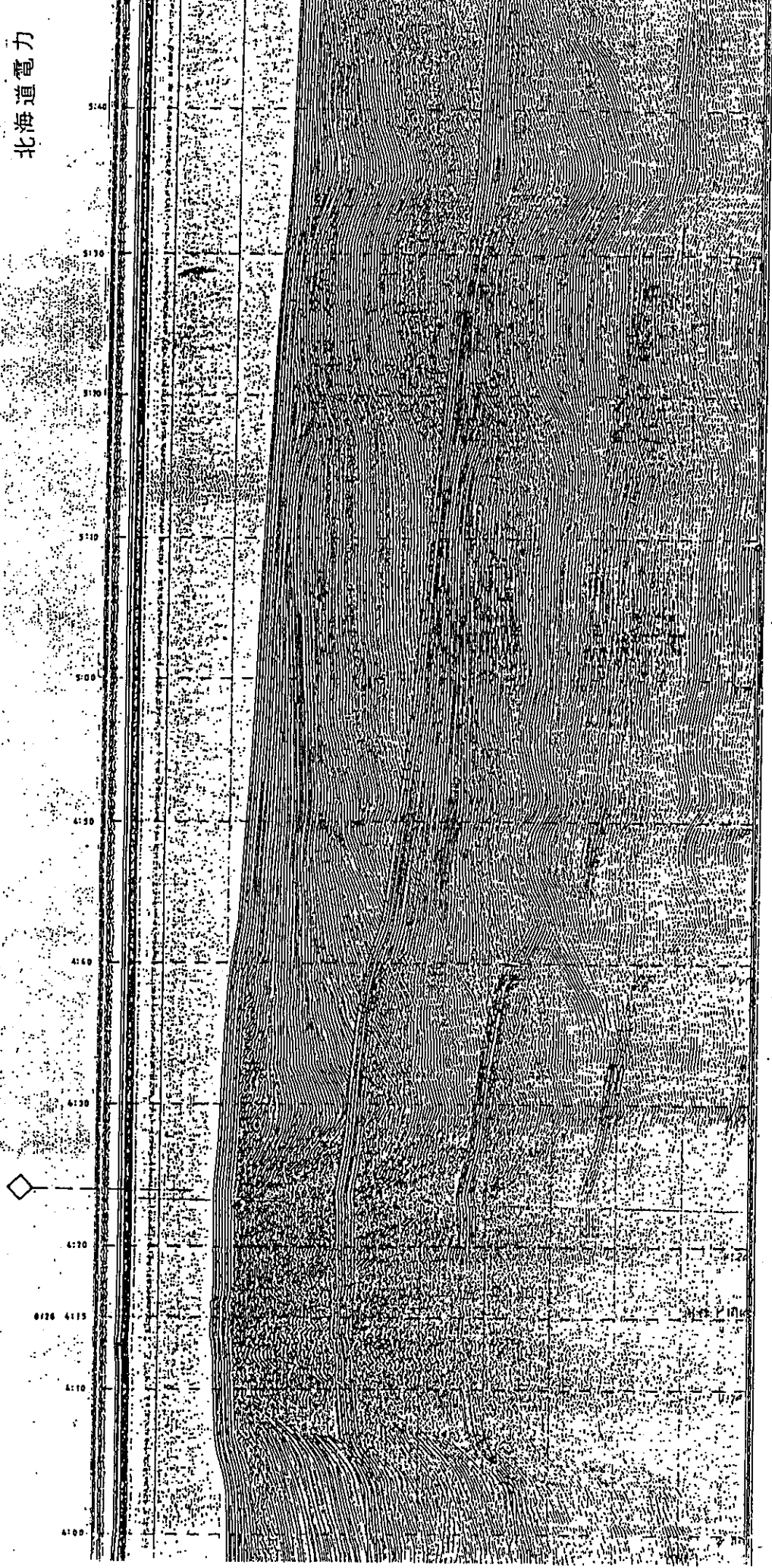
	⑭ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔	⑯ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘
記録原典	大陸棚の海の基本図 20 万分の 1, 海上保安庁	「北海道周辺日本海および オホーック海域」 100 万の 1, 地質調査所
測線間隔	約 2 海里 (3.7 km)	約 15 海里 (28 km)
振源	圧縮空気式 (エアガン)	圧縮空気式 (エアガン)
発振間隔	約 6 秒	約 10 秒
発振エネルギー	7,000 ジュール	80,000 ジュール
船速	約 10 ノット	約 10 ノット
船位表示	10 分間隔	1 時間間隔
記録の縦横比	北部 約 27 (縦: 68 m/cm 横: 1820 m/cm) 西部 約 25 (縦: 68 m/cm 横: 1730 m/cm)	約 21 (縦: 165 m/cm 横: 3470 m/cm)

A 海域

C

C

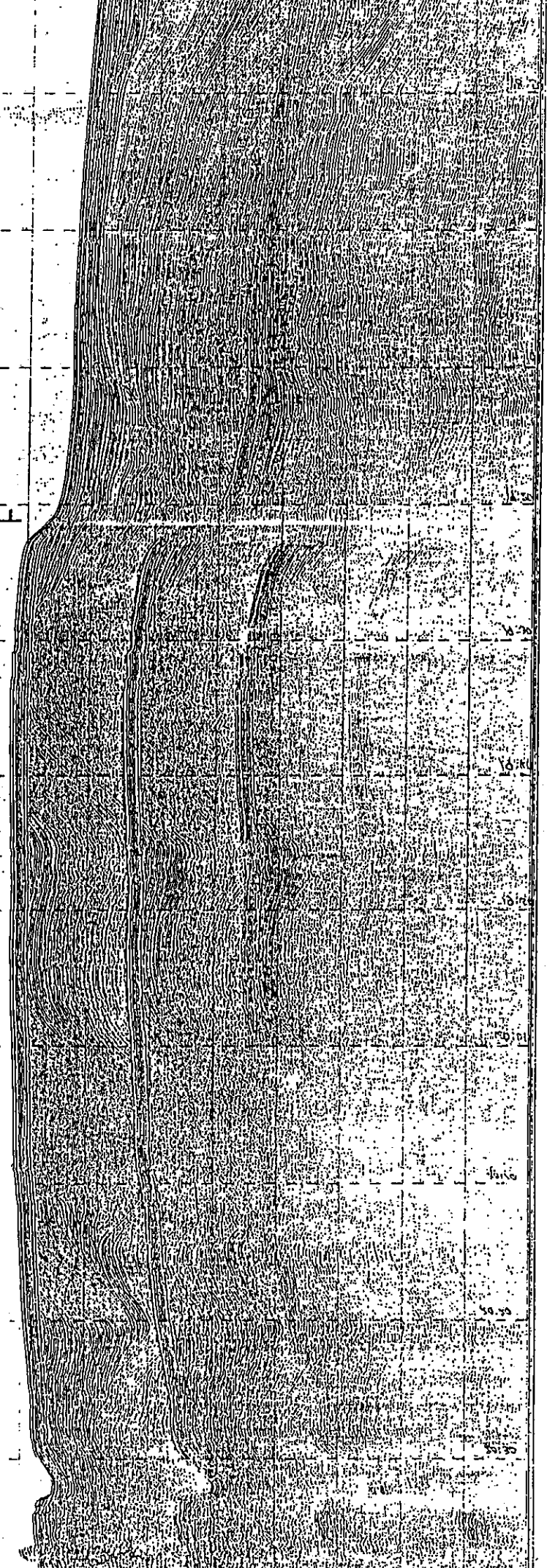
北海道電力



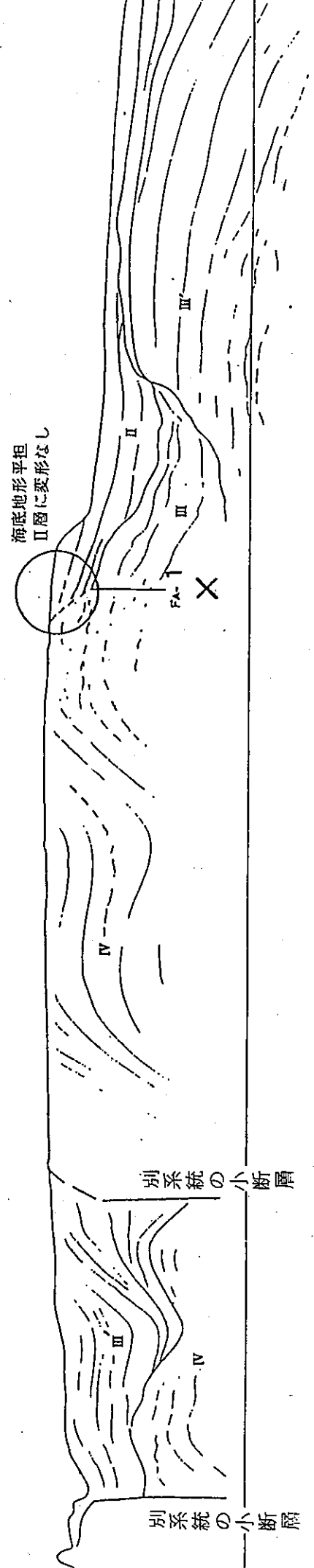
留萌西側
海域の断層

文献断層位置

10:30 10:40 10:50 11:00 11:10 11:20 11:30 11:40 11:50 12:00 12:10 12:20 12:30 12:40 12:50 13:00 13:10 13:20 13:30 13:40 13:50 14:00 14:10 14:20 14:30 14:40 14:50 15:00 15:10 15:20 15:30 15:40 15:50 16:00 16:10 16:20 16:30 16:40 16:50 17:00 17:10 17:20 17:30 17:40 17:50 18:00 18:10 18:20 18:30 18:40 18:50 19:00 19:10 19:20 19:30 19:40 19:50 20:00 20:10 20:20 20:30



海底地形平坦
II層に突形なし

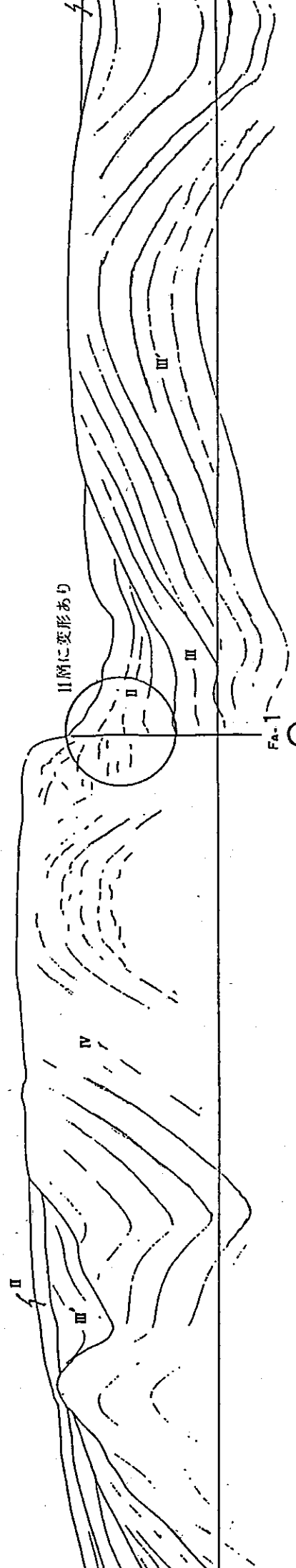
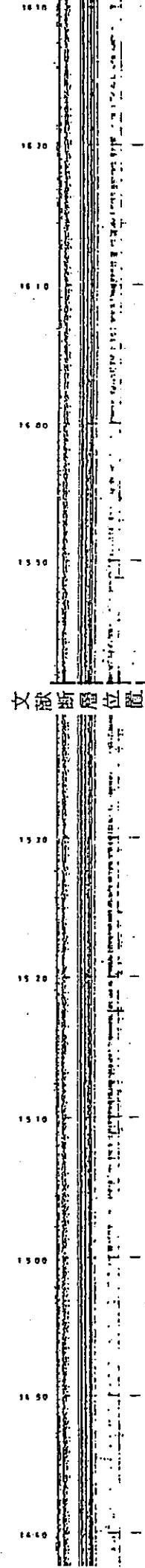


測線 A-3

18:50 19:00 19:10 19:20 19:30 19:40 19:50 20:00 20:10 20:20 20:30

留萌西側
海域の断層

文 献 断 層 位 置



測線A-4

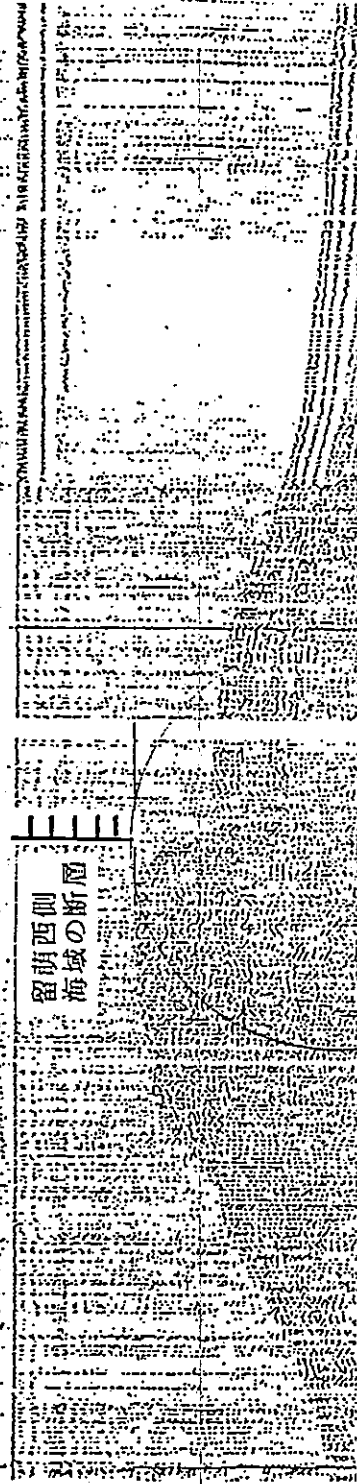


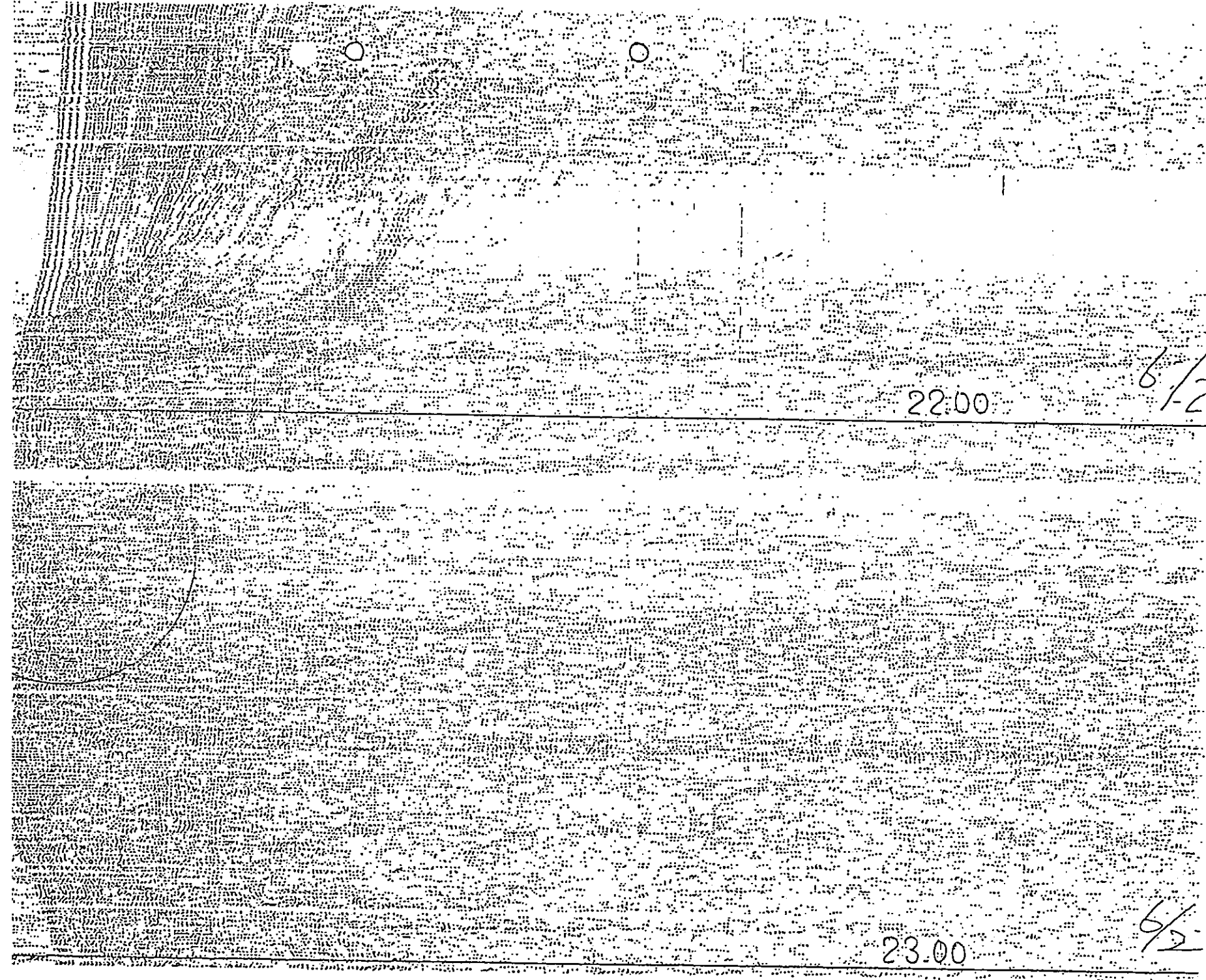
海上保安庁

⑭ - 1

層理面が明瞭でなく、断層か否かの判読が困難である。

留萌西側
海域の断層

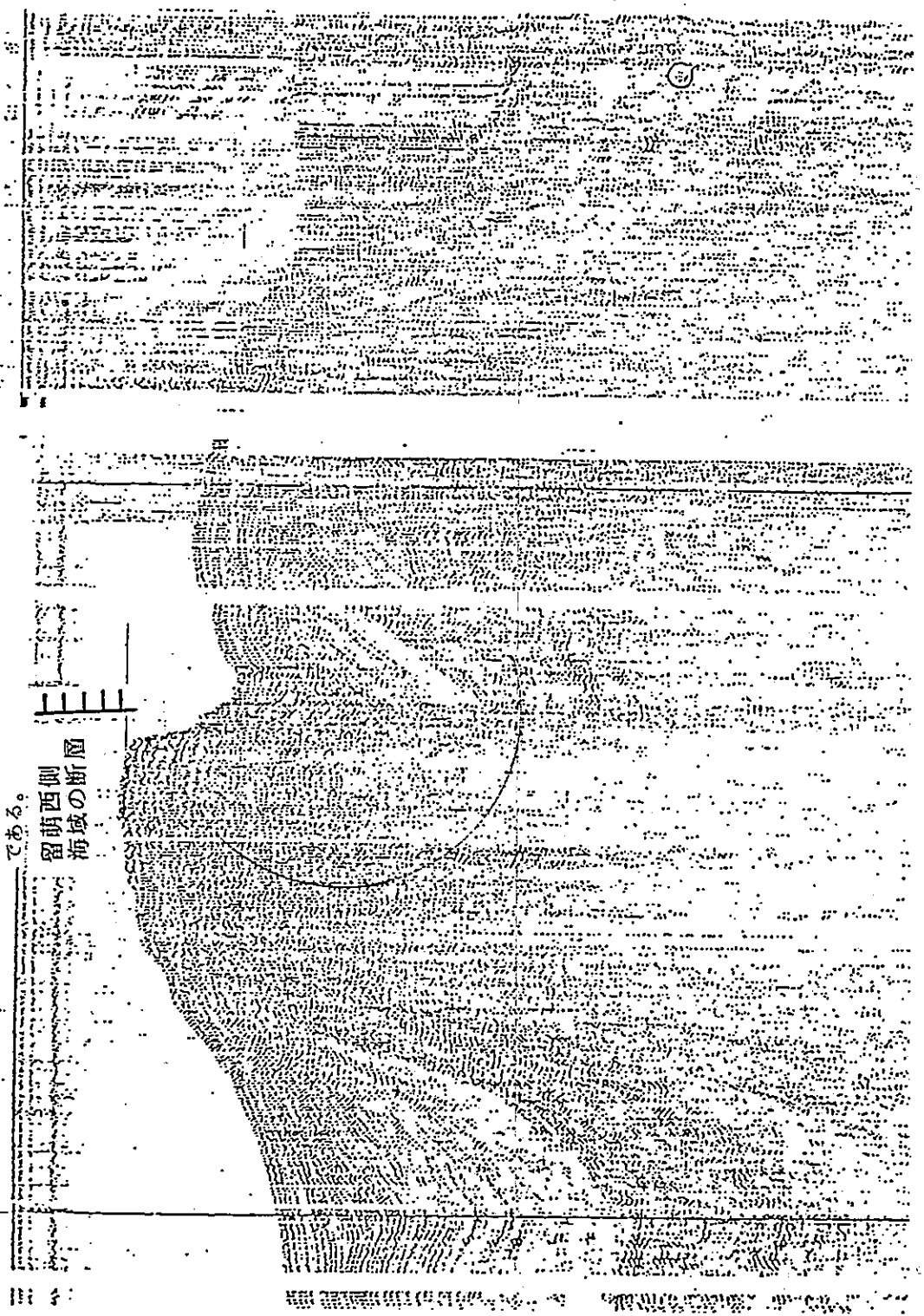




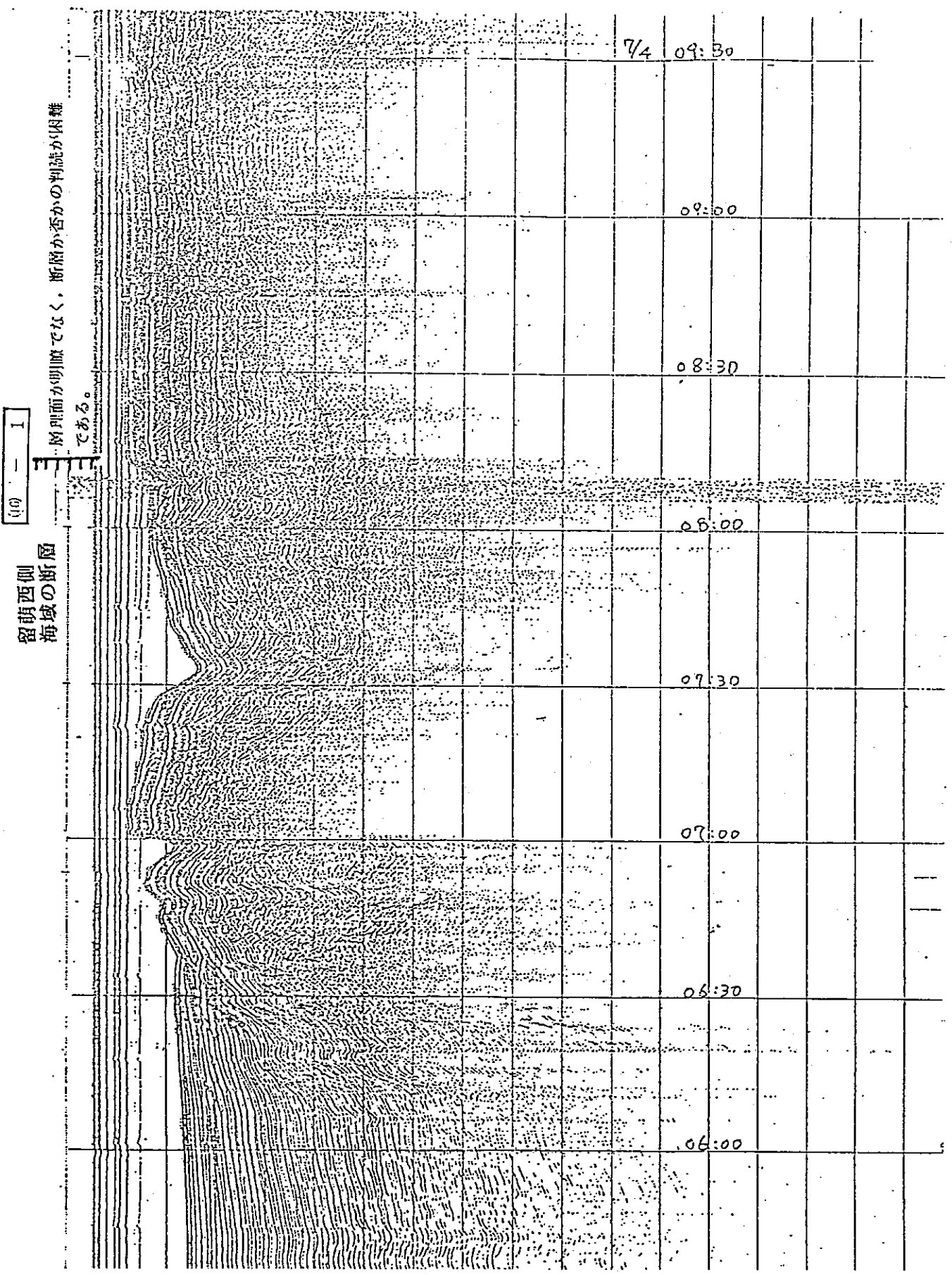
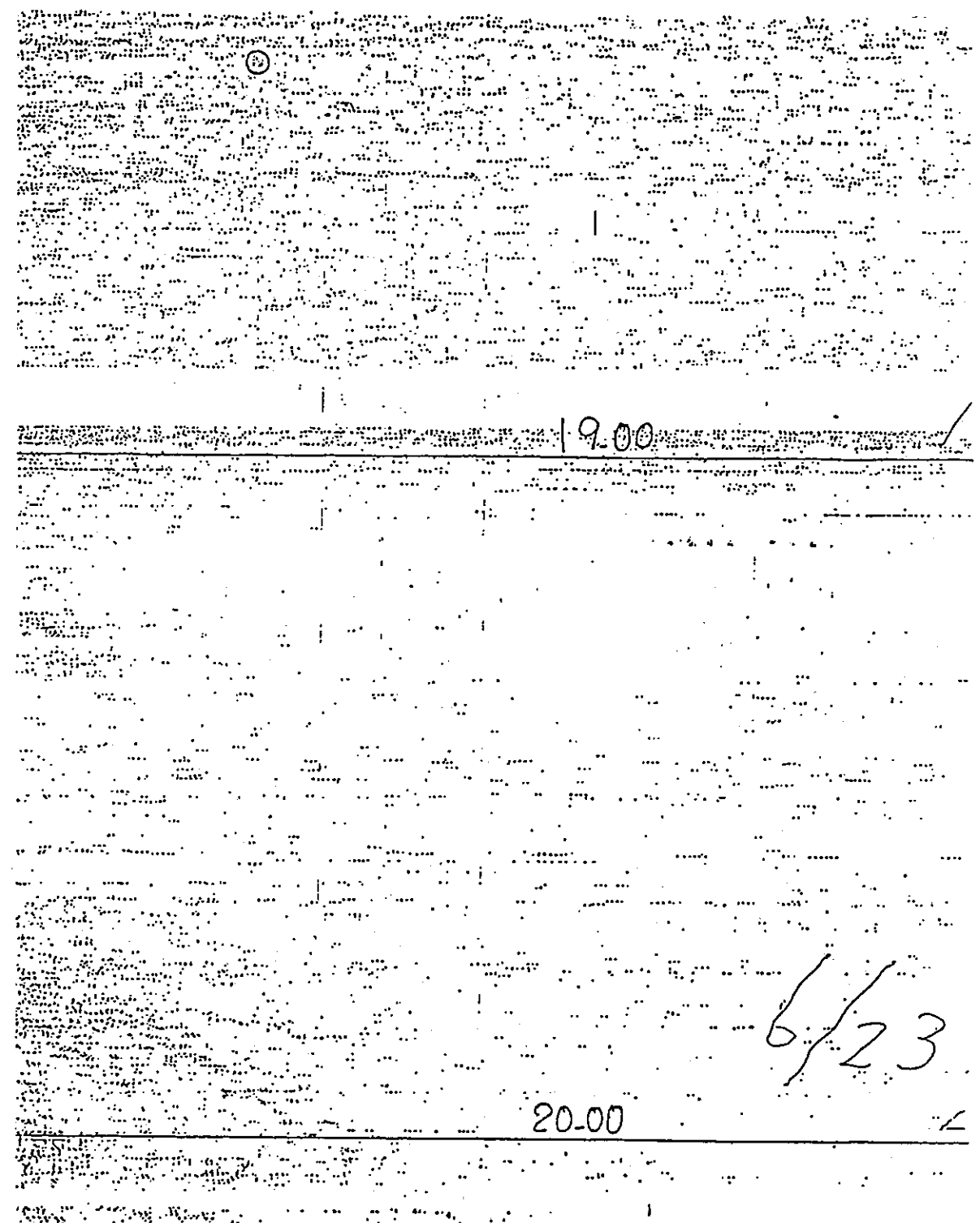
⑭ - 2

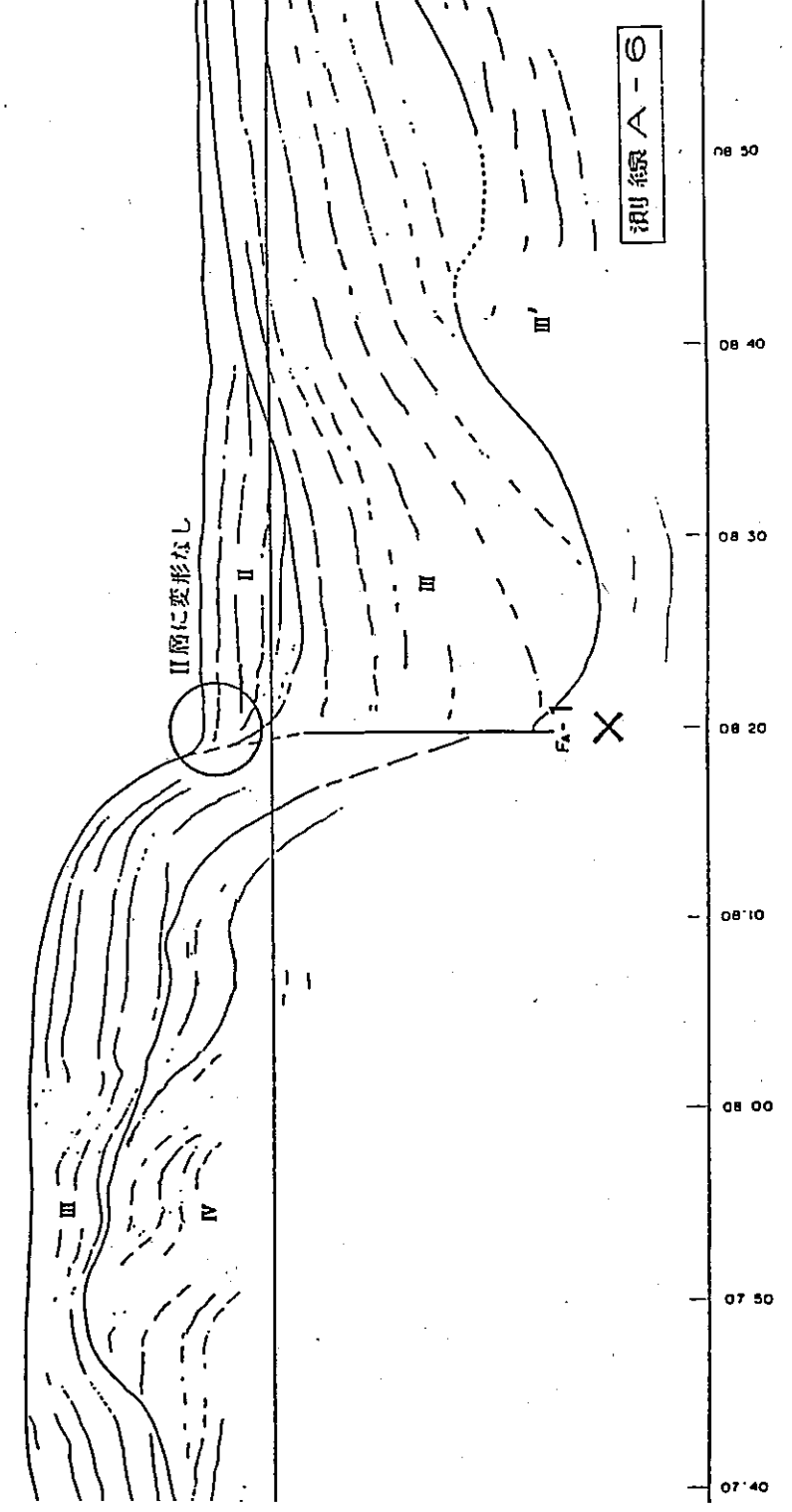
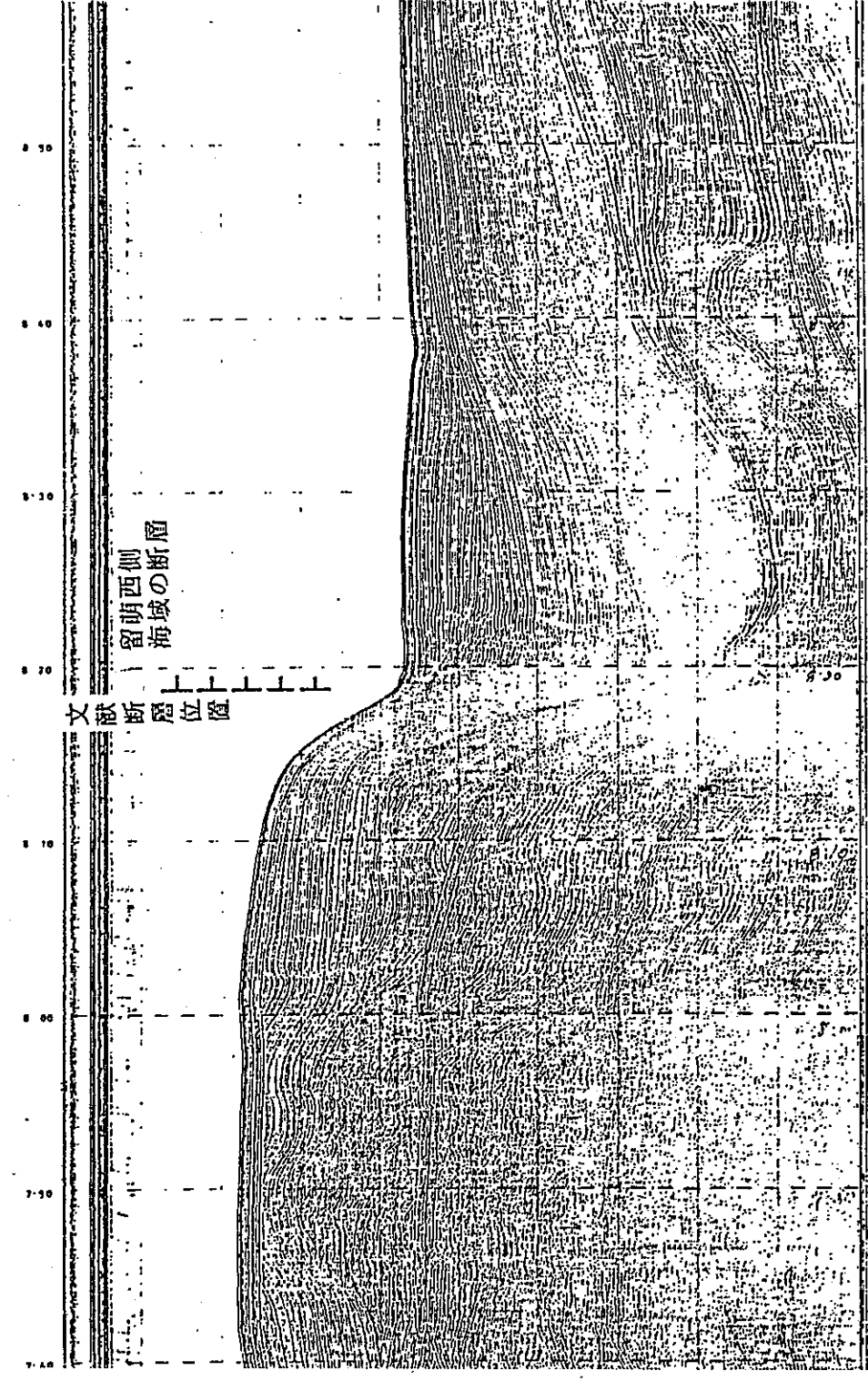
断理面が明瞭でなく、断面か否かの判断が困難である。

留萌西側
海域の断面



地質調査所





④ - 4
 断層面が明瞭でなく、断層か否かの判読が困難である。
 留萌西側海域の断層

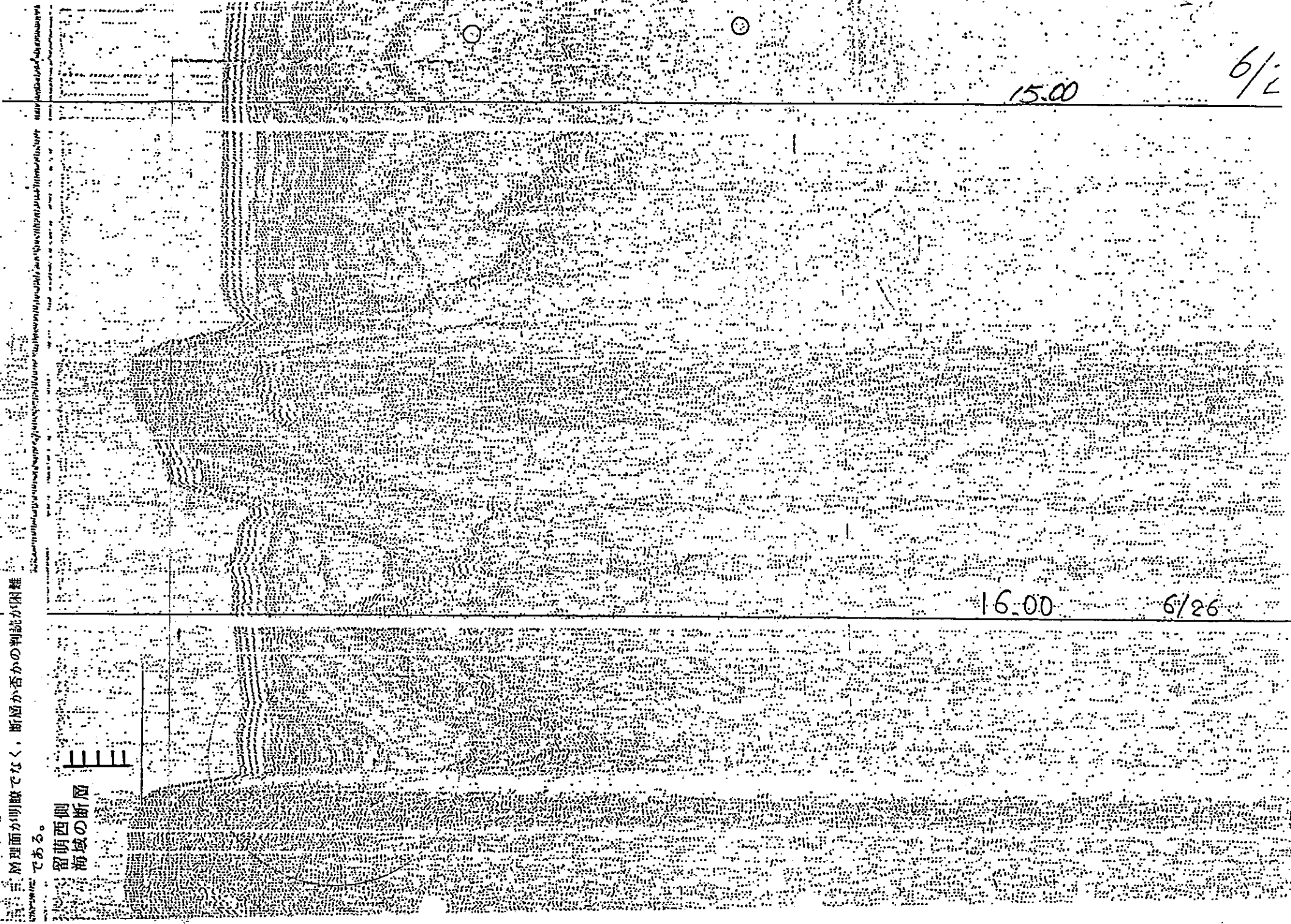


p36 1/3

⑭ - 4

断面が明瞭でなく、断層か否かの判断が困難である。

留萌西側
海域の断層

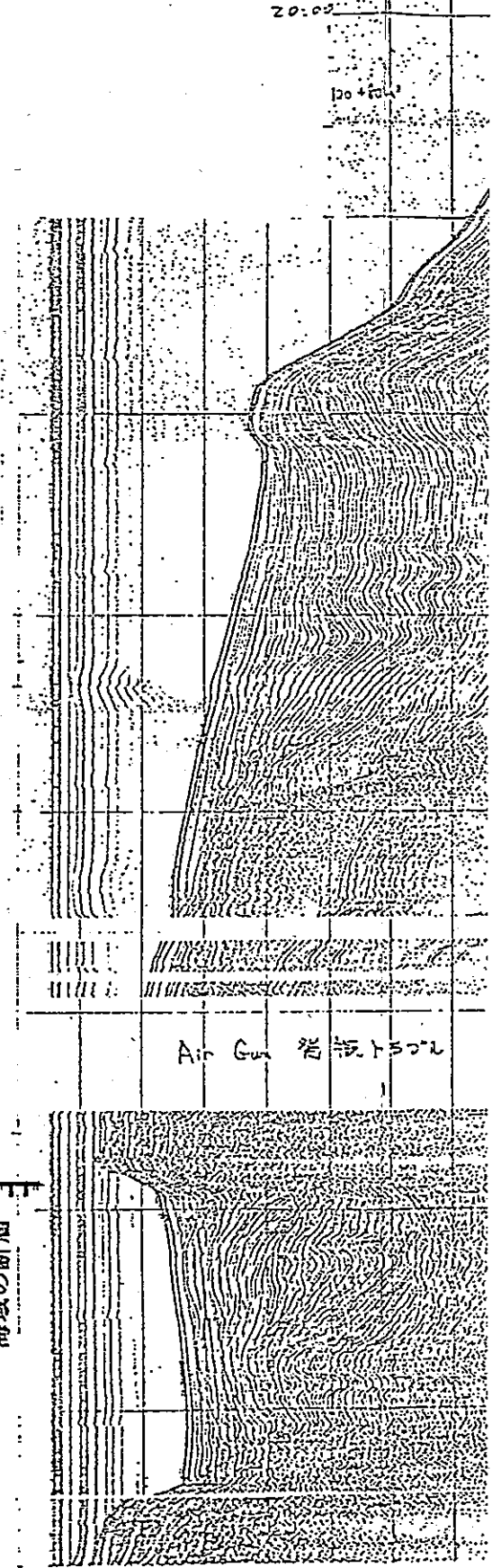


地質調査所

下位層は切断されていると判断され、断層の可能性はある。
上位層はアバットしている可能性がある。

⑯ - 2

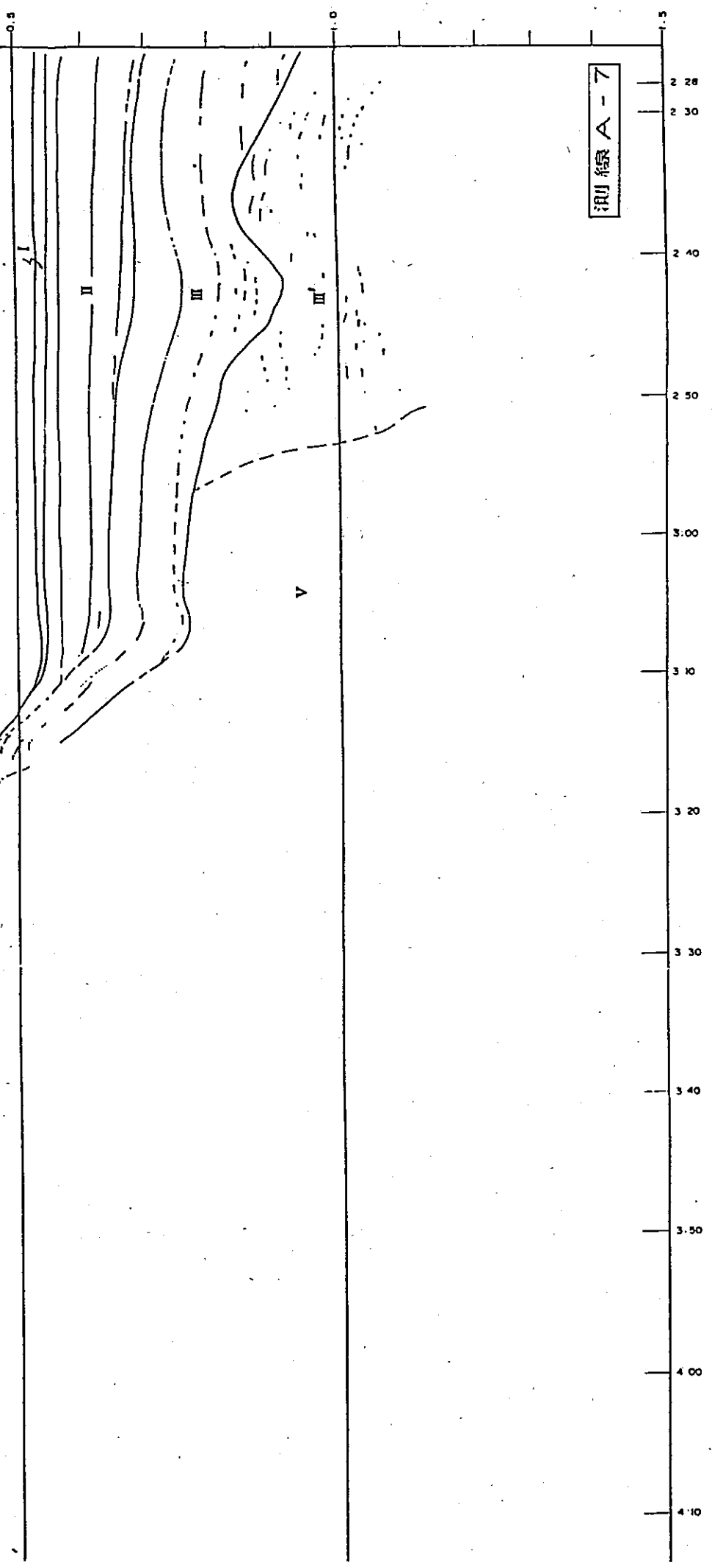
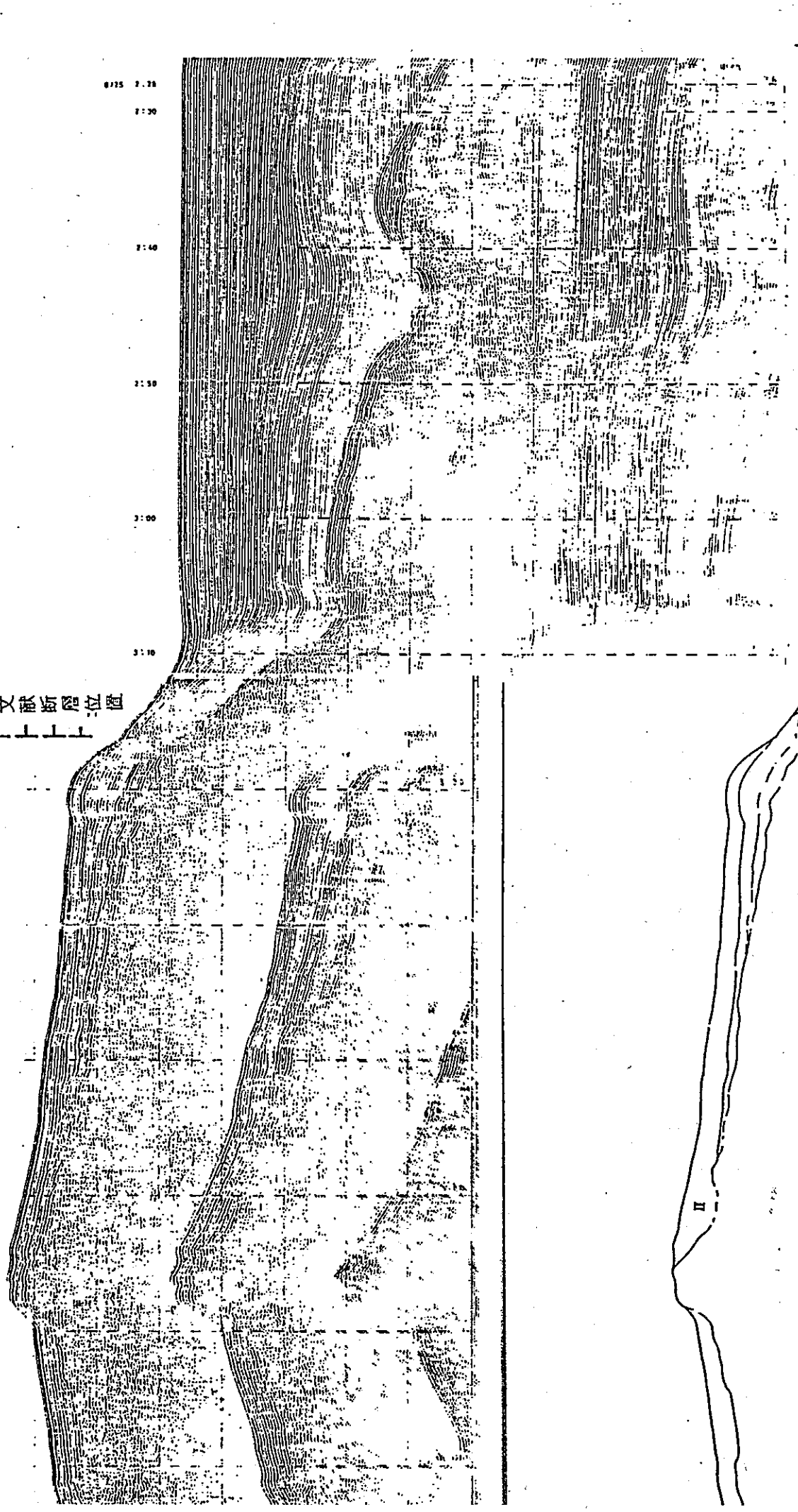
留萌西側
海域の断層



留萌西側
海域の断層

北海道電力

文献断層位置



p 37 1/3

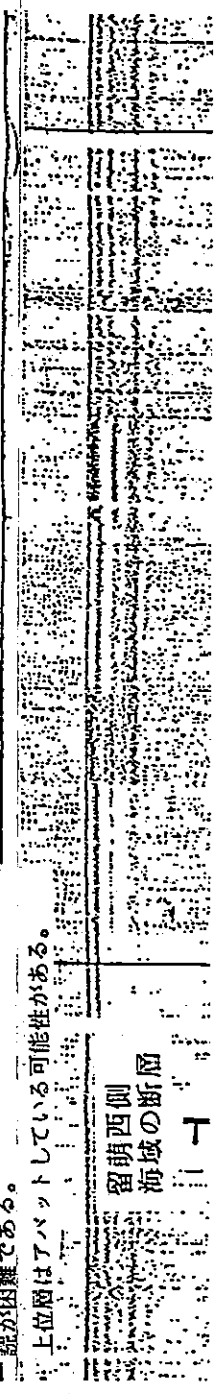
海上保安庁

⑭ - 5

下位層の層理面が明瞭でなく、断層か否かの判
断が困難である。

上位層はアバットしている可能性がある。

留萌西側
海域の断層

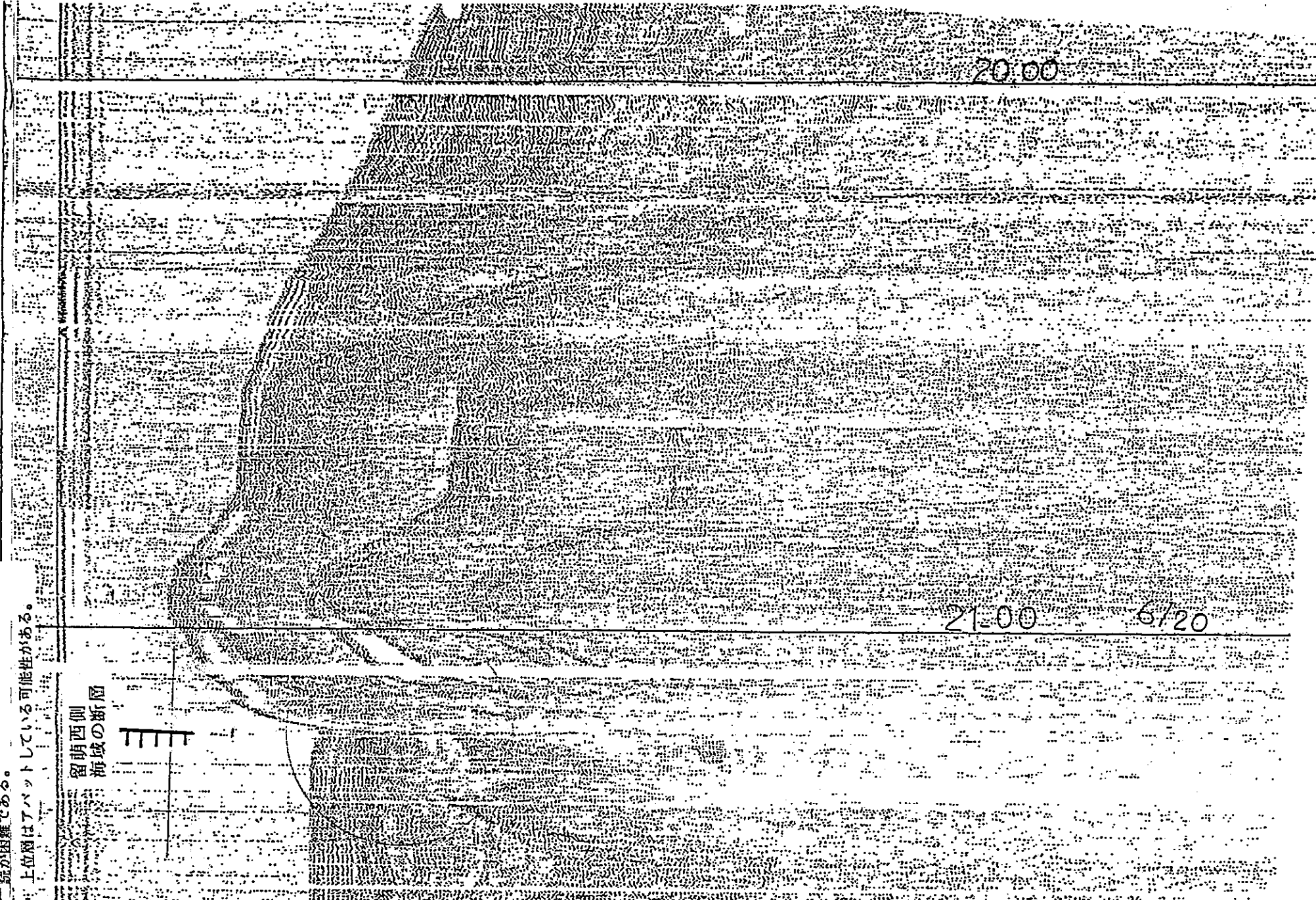
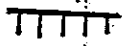


⑭ - 5

下位層の層理面が明瞭でなく、断層か否かの判
一 断が困難である。

上位層はアバットしている可能性がある。

留萌西側
海域の断層



⑭ - 6

下位層が連続していると判断され、
断層でない可能性が大きい。

留萌西側
海域の断層



P37 2/3